

防災とエネルギー

東日本大震災から5年…あの日を忘れないで

3.11

千年に一度といわれる津波の被害がもたらした影響は、今なお深い爪痕を東北に残しています。自然災害には、「想定外」のことが多くあります。公的機関が被災することも考え、災害についての「イメージ力」を持ち、まずは自助努力をすること、地域での自主防災意識を持つことが求められています。地球温暖化も、自然災害に大きな影響を及ぼします。東日本大震災の教訓として、私たちにできることは何でしょう？ あらためて考えてみませんか？



未来のために、いま選ぼう。

2016.3.11(金) 14:30 ~ 17:00

港北図書館 2階会議室

- JR 菊名駅徒歩7分
- 東急東横線菊名駅東口徒歩7分
- 市営バス停「菊名地区センター前」下車1分(41、59系統)

当日のプログラムは、
自然エネルギーで
運営します



プログラム

「いのち てんでんこ」4つの意味

肥後貴美子(熊野の森もろおかスタイル)

釜石「はしれ、上へ。つなみてんでんこ」

絵本読み聞かせ

後呂純英(港北おはなし会)

温暖化による自然災害の脅威(世界の事例から)

佐藤一子(横浜市地球温暖化対策推進協議会事務局長
IPCC リポート コミュニケーター)

独立型太陽光発電&ソーラークッカーは
災害時役立つか

中尾圭一(ソフトエネルギープロジェクト連絡会委員長)
渡邊恵治(ソフトエネルギープロジェクト副代表)

家庭の防災計画をたてよう ワークショップ

家庭内DIGと目黒巻き
宇田川規夫(国際救急研究所理事長)

問合わせ：横浜市地球温暖化対策推進協議会 TEL045-681-9910

共催：横浜市地球温暖化対策推進協議会・熊野の森もろおかスタイル 協力：港北区役所 港北図書館

